

理事長ってどんな人？

理事長所信読み合わせ解説、心構え

第29代理事長

清水 俊佑

解説の前に

よいチーム作り → 相手を知る →
話を聞く(聴く) → 話してもらわないと。→

「**心理的安全性**」 →

自分を知ってもらおう(自己開示) →

清水俊佑って**どんな人**？

自己紹介

清水俊佑

しみず しゅんすけ

昭和60年1月7日生まれ(38歳)

丑年 山羊座 O型

妻 息子2人(10歳 8歳)

会社紹介

株式会社 鯉平

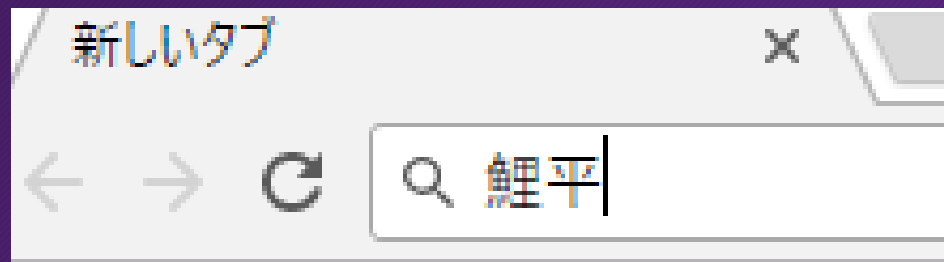
創業明治30年

川魚の卸問屋(消費地問屋)

鰻、鯉、どじょう、鯰を専門店様へ配送

鰻の加工、販売、通販

飲食店経営



経歴

- 1985年1月 清水家の長男として生まれる
- 埼玉栄高等学校 ラグビー部
- 帝京大学 文学部 教育学科 初等教育学専攻
- 小学校教諭免許・幼稚園教諭免許 取得

経歴

- 川崎市 小学校教育諭として8年間勤務
- 草加市 平塚製菓株式会社にて1年間勤務
- 株式会社 鯉平 入社（7年目）

教員時代



教員時代

『算数の事なら清水先生』

と頼られるようになって

同期の中で算数の指導力で

トップになっていよう

教員時代

教員4年目のときに
4年後に実家に戻ることを決意

悔いを残さぬよう、燃えめました！

なぜ家業に？

- ・「好きなことをしなさい」という
父の言葉
- ・つらい姿を一切見せなかった父
- ・祖父の葬儀

今の自分



先進性
本質を見る
組織論
リーダー論
国家論
国際的感覚
地域貢献



長男として
私だからできること
150年、200年
続く企業
イノベーション



埼玉県倫理法人会

モーニングセミナー
倫理の普及
倫友づくり
日本創成



さいたま市立 大宮南小学校PTA
公式ホームページ www.omiyaminami-epta.com

地域貢献
教育に携わる
かっこいい父親

好きな思考・こと

声を出すこと

- ・カラオケ
- ・国家 JCソング 各唱和

好きな思考・こと

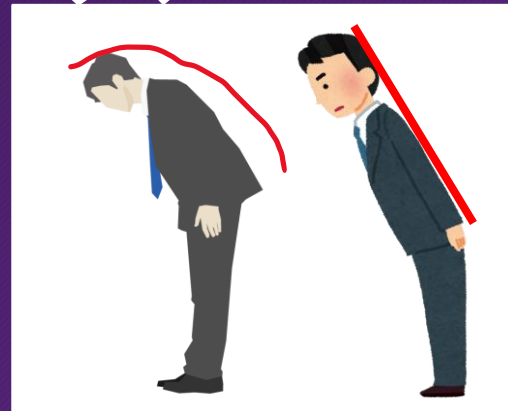
雰囲気づくり

- ・BGM 超～～～大事！
- ・合いの手、リアクション

好きな思考・こと

そろっていること、合わせようとする意識

- ・資料の置き方
- ・唱和するフレーズ
- ・礼 姿勢



好きな思考・こと

言霊

- ・前向き言葉
- ・～します。～しようと思います。
- ・悪口、陰口、後ろ向き言葉

好きな思考・こと

インプット大好き

・ ABEMA TV



News Picks



アウトプット苦手

・ よく妻に「で。何が言いたいの？」

好きな思考・こと

自分事

- 質疑応答
- 事業動員



一般応募
集まっている
かな？

参加者を出迎えるの
に、どこに立てばいい
かな？

徳

徳は孤ならず。
必ず隣あり。



壁は乗り越える
ものではない。
壊すものだ。
なぜなら……

2024年度周年準備特別委員会

グループ目標

新たな指標のもとに、メンバーの足並みを揃える

到達点

ビジョン2025の作成、国際アカデミーをメンバー一丸となって取り組むという意識の醸成

2月例会
国際アカデミーの機運を高める

11月例会
ビジョン2025の作成



国際アカデミーに向け、決意を固める！

新しい行動指針を共有し、志を一つに！

輝かしい未来が待っている！

2024年度 拡大アカデミー特別委員会年間方針！

～多様性の確保と当事者意識の醸成！～

2023年

10月～



● 推進計画

2024年

1月

● 10名

- ・スタッフによる研修委員会 (1月～6月)
- ・オープン研修委員会 (8月～)

5月

● 25名

● ばらまつり

9月

★ 40名

12月

● 40名

● 12月例会

2024年12月末

200名達成！

成果目標

- ・2024年度末200名以上
- ・当事者意識の高い状態で2025年度へ！

● 拡大戦略

- ・委員会への拡大幹事の出席
⇒ LOM全体の意識改革 (当事者意識の醸成)
- ・拡大貢献者を称える仕組みづくり
- ・前年度より拡大情報の引継ぎ
- ・異業種交流会の開催
- ・諸団体連携
- ・企業訪問
- ・行政訪問

● 育成戦略

- ・スタッフによる研修委員会
⇒ JC基礎知識やLOMの歴史について
- ・オープン研修委員会
⇒ より専門的な知識や意識の醸成
- ・ばらまつり
⇒ 社会貢献への達成感を醸成
- ・12月例会
⇒ LOMメンバーとしての当事者意識を醸成

会員拡大について

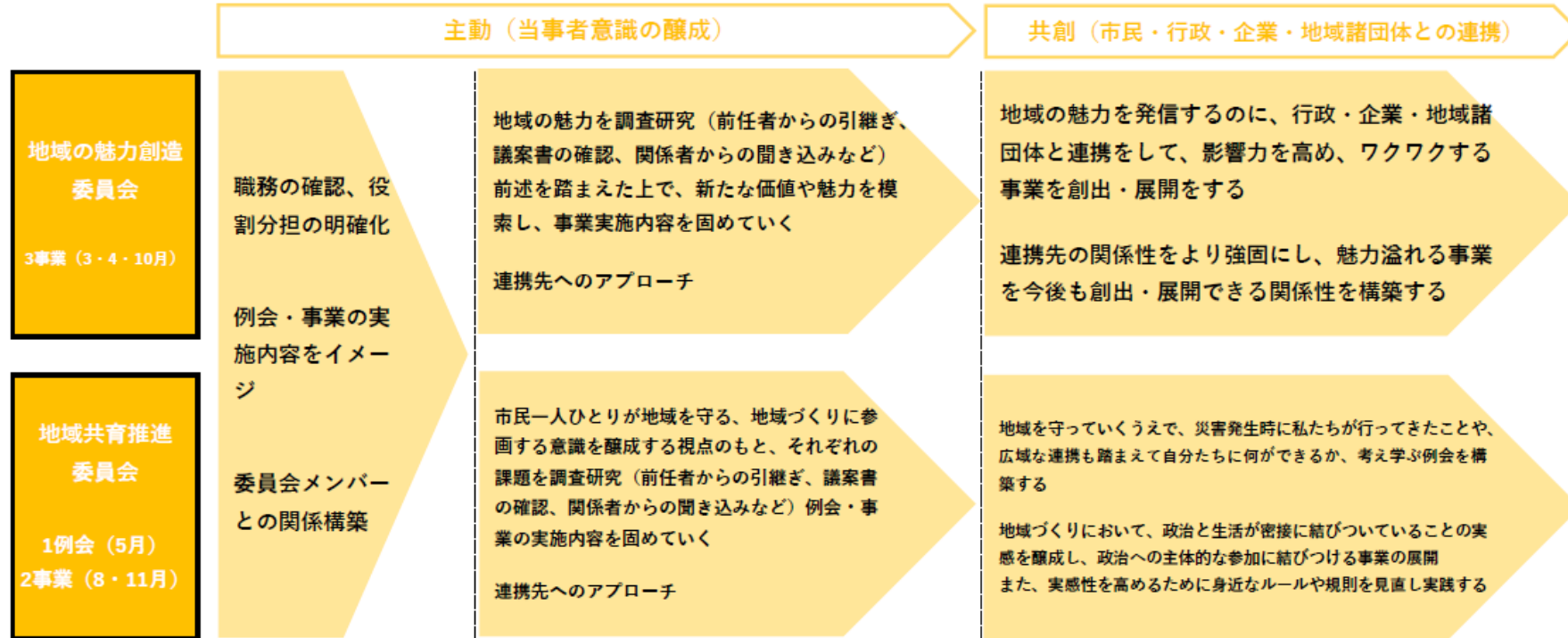
JC運動の1丁目1番地

常にアンテナを張る

臆さず、声を掛ける

入るか入らないかは相手が決めること

2024年度 地域・連携グループ 成果イメージ（案）



グループ目標

地域をより発展させるために様々な団体と連携をして、市民一人ひとりに対して「愛・守・創」の三本柱から圧倒的な当事者意識を醸成し地域を強くする。

2024年度 人材グループ

グループ目標

主動

地域市民・メンバー一人ひとりに時代に即した本質的な気づきを与え、「人づくりはまちづくり」を体現できる圧倒的当事者意識を持った人材育成に寄与する。

共創

青年会議所の機会である「国際の機会」や、JCIミッション、ビジョンにある「リーダーシップ」を明確に定義し、定着をさせることで、まちを創る運動を加速させていく。

青少年育成委員会

- 1例会 6月(対外)
- 2事業 国際交流事業

様々な人と人との関わることによる新たな価値観の創造

- ・例会 わんぱく相撲 継続事業であったものを例会として。また、各予選の統合も視野に入れたリスタート。
 - 歴代の委員長やシニアの方々。連盟の方々への調査・ヒアリング。
 - LOMとしてメンバー益の在り方。
 - 例会として行うからこそできる設えの検討。
 - 規模の変更に伴う、運動効果の変化。
- ・国際事業 国際化が進む今、子供たちの行動変容や価値観の広がりを更に加速させる新たな取り組み。
 - 子供たちの国際交流事業として年代・地域・期間等どのような形が効果的かの検証。
 - ホームステイの実施という地域を巻き込んだ国際交流運動への挑戦。

リーダーシップ推進委員会

- 2例会 3月(対外)8月(対内)
- 1事業 TOYP
- 1推進 3分間スピーチ

AIではなく、人だからこそできる決断力の醸成

- ・対外例会 講師例会 地域市民を含め、1000人規模の集客を見込む設えとする。
 - 人間だからこそできる「判断力」だけではない「決断力」の醸成。
 - 能力とはなにか、決断をするとはなにかの追求。
- ・対内例会 メンバー同士の実践型
 - メンバー同士のコミュニケーション能力の獲得。
 - 既存の能力を伸ばすのではなく、新規にリーダーシップスキルを獲得する。
- ・TOYP
 - 具体的なリーダー像の周知。
 - 3分間スピーチ
- 今年度の特色として、コミュニケーション能力向上に特化した内容とする。

渉外・交流グループ

グループ目標：メンバーの当事者意識を醸成し、より活発なLOMに！

渉外委員会

- ★出向しているメンバーのサポート
- ★出向していないメンバーの参加意欲向上

- ・迅速、丁寧な出向者支援
- ・魅力を分かりやすく伝える
- ・メンバーの満足度を上げる

10月例会

各種大会の参加促進
各種ブース出展？

組織活性化委員会

- ★とにかく
出席率の向上

- ・参加したいと思わせる仕掛け
- ・出ないともったいない！
と思わせる企画

1月事業(報告)

2月例会

(例会での出席率報告)

総務グループ

グループ目標：屋台骨としての自覚を持ち、より強固な組織に！

総務委員会

★組織の形、規則をメンバーに理解してもらう

- ・ 理事会、総会の設営
- ・ 組織のルール、仕組みを周知、今後の可能性を伝える

7月例会
手帳作成
総会

ブランディング委員会

★より多くの人(対内、対外問わず)にLOMを知ってもらう

- ・ 1年間の方針の発表
- ・ LOMで大切にしてきた価値の共有
- ・ 様々な広報活動

1月例会(記念式典)
9月例会(創立記念)
ブランディング年間推進



2024年度議案審査会議年間方針



スローガン：誰よりも議案に目を通し、一切の妥協を排して最高の議案構築の後押しをするぞ！

①フォーマットチェック

- ・一文一文丁寧に読み込む（手を抜かない）。疑いの目を持ってチェック（気になることは何でも質問）。
- ・自分の時間を確保する（会議の日程は事前にわかっている）。
- ・理事全員で最終確認する。
- ・委員会メンバーが自律的に出来るまで指導する。

③意見集作成

- ・意見者の意図が伝わる意見集の作成。（簡略化しない。誰が見ても意図が伝わる内容を記載する。）
- ・意見集は翌日中には配信をする。（意見集が遅れると対応が遅れる言い訳となってしまう。）

②議案審査会議の運営

- ・会議の30分前には設営を完了させる。
- ・審査にふさわしい意見出し。（基本方針との整合、適正な予算の使用、コンプライアンス等々）

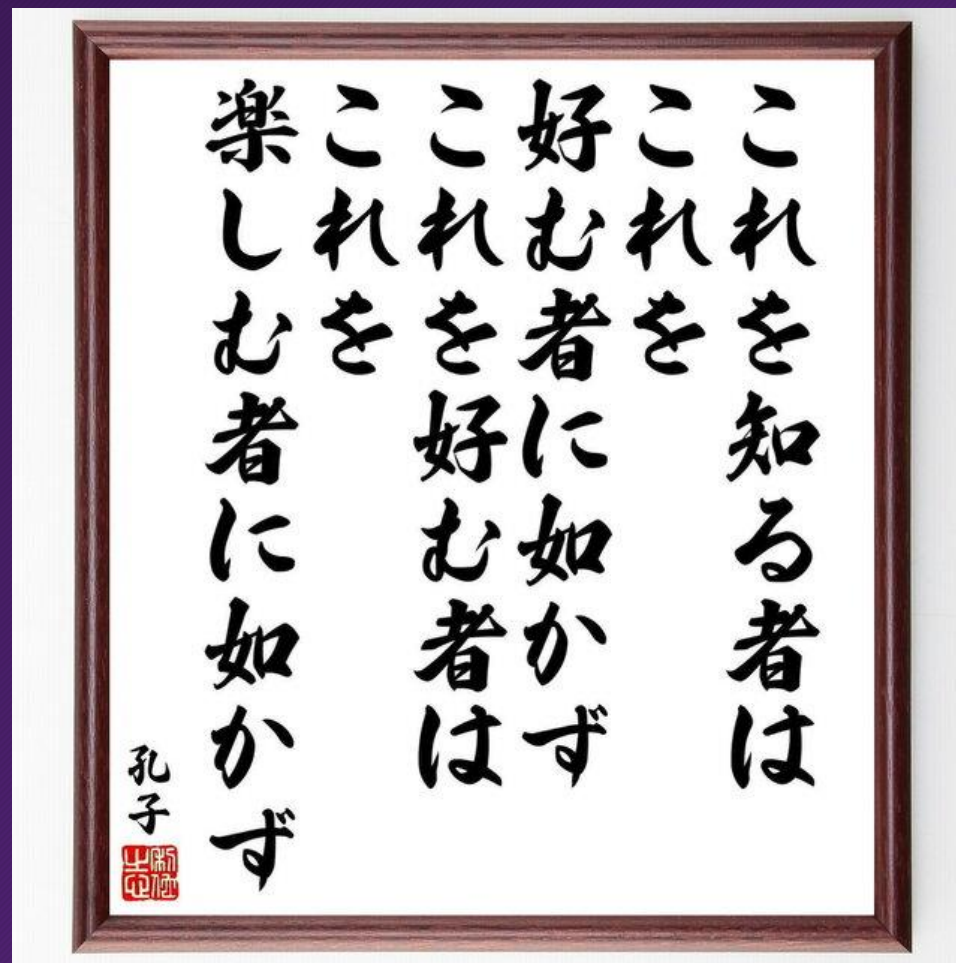
④2024年度のこだわり

- ・過去の報告議案の検証が活かされているかチェックし、議案に反映されるようにする。（類似する2023年、2019年の報告議案を見返し、成功事例、失敗事例を調査した上で会議で意見をする。）
- ・理事以外のメンバーが議案に対して意見を持てるように教育をする。（委員会内では、議案のいろはについて勉強する場を設ける。）

《一年間の成果》

- ・理事：議案を見る目が磨かれ、質の高い意見をズバツと言いつつも、しっかりとフォローが出来る人財へと成長。
- ・委員会メンバー：議案に対する興味が高まり、議案について語りだし、委員会内での議案に対する議論が活発になること。
- ・ロム：議案審査会議が門番としておそれられる風土を醸成する。

主動共創 Come together !



11月ぐらいに
皆さんの宣材写真
プレゼント

